

# 委託業務特記仕様書（令和８年８月１日以降適用）

## （共通仕様書の適用）

- 第１条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書（令和８年７月）」、「徳島県設計業務共通仕様書（令和８年７月）」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書（令和８年７月）」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- ２ ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

委託業務共通仕様書について

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7314451/>

## （成績評定の選択制（試行））

- 第２条** 当初業務委託料（税込み）が１００万円を超え５００万円未満及び、変更契約で業務委託料が１００万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- ２ 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- ３ 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が１００万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

## （受発注者共同による品質確保）

- 第３条** 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。

なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

### （ウィークリースタンス）

**第4条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に組み込まなければならない。

- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
- （2）マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- （3）フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）

2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。

3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。

4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。

5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

### （業務スケジュール管理表）

**第5条** 本業務は、円滑な業務の実施と品質の向上を図るために、受発注者の役割分担の明確化と懸案事項や業務スケジュールを共有する、業務スケジュール管理表を作成しなければならない。

2 受注者は、業務スケジュール管理表を初回打合せ後速やかに提出するものとし、中間打合せ時等、必要に応じて修正をするものとする。

### （Web会議【発注者指定型】）

**第6条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

### （Web検査【発注者指定型】）

**第7条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 Web検査は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

### （オンライン電子納品）

**第8条** 受注者は、オンライン電子納品の実施を希望する場合、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」における着手前協議を実施し、監督員の承諾を得たうえで、オンラインにより電子納品をすることができる。

- 2 なお、オンライン電子納品を実施する場合、次の URL にある「オンライン電子納品実施要領」を適用することとする。

オンライン電子納品実施要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7312755/>

### （情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

**第9条** 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

- 2 対象業務は、次の URL にある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県 CALS/EC

<https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

### （C I M活用業務【受注者希望型】）

**第10条** 本業務は、C I M（Construction Information Modeling, Management）を活用し、建設生産・管理システム全体の課題解決および業務効率化を目的とした「C I M活用業務（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「C I M活用業務試行要領」を適用する。

- 2 受注者は、C I M活用業務の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

C I M活用業務試行要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7238626/>

### （本業務の特記仕様事項）

**第11条** 本業務における特記仕様事項は、次のとおりとする。

本業務については、別途発注予定の「R 8 阿土 羽ノ浦福井線 阿南・桑野 測量業務」の測量成果を基に設計を行うものとする。このため、実施にあたっては、作業の計画および進捗等について、受注者間で適切に情報共有および調整を行うものとする。

- 2 個別の留意事項については、別紙「R 8 阿土 羽ノ浦福井線 阿南・桑野 道路盛土対策設計業務 特記仕様書」のとおりとする。

## R 8 阿土 羽ノ浦福井線 阿南・桑野 道路盛土対策設計業務 特記仕様書

### 1. 業務の目的

徳島県道路啓開計画（南海トラフ地震対策編）に基づく最優先啓開ルート：県道 24 号 羽ノ浦福井線において、レベル 2 地震動に対する既設高盛土の耐震性能を確保するための対策工設計を実施する。

### 2. 設計計画

業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

### 3. 現地踏査

貸与資料を基に現地踏査を行い、現況施設の状況、地形、地質、土地利用状況及び施工の観点から現地の状況を把握し、整理する。

### 4. 横断設計

測量業務による測量成果（貸与資料）を基に、対策工設計に必要な横断計画を行う。

### 5. ふとんかご詳細設計

既設高盛土ののり尻補強対策として、ふとんかご工等の詳細設計を行う。なお、スベリ安定計算は行わず、基礎地盤の処理を含めた設計とする。

### 6. 排水ボーリング工詳細設計

盛土内の水位を低下させるための排水対策として、排水ボーリング工の詳細設計を行う。

### 7. 水理検討

対策工の設置に伴う排水施設の計画にあたり、必要な水理検討を行う。

### 8. 水路工詳細設計

水理検討の結果に基づき、既設高盛土周辺の水路工の詳細設計を行う。

### 9. 施工計画

検討された対策工に基づき、工事の施工方針、施工順序、仮設備計画等を検討し、施工計画案を策定する。また、官有地内を利用した迂回路の検討を行う（民有地を利用した検討は行わない）。

### 10. 二次元地震応答解析（動的有効応力解析）

前段の地質調査結果から得られるパラメータを用い、レベル 2 地震動に対して液状化地盤の有無等の地質条件を考慮し、対策工（抑制工）実施後の設計断面において、2 次元動的 FEM 解析(動的有効応力解析)による性能照査(残留変形解析)を行う。

### 11. 打合せ

業務着手時及び完了時のほか、中間打合せを 2 回（基本計画時、詳細設計・施工計画時等）実施する。なお、業務着手時及び完了時には、管理技術者が出席すること。

## 1 2. 報告書作成

各設計及び検討結果を取りまとめ、設計業務成果概要書等の報告書を作成する。